

ハンドボール

NO.14

Japan
Handball
Association



- 社会人
- 学生
- 高専
- 高体連
- 中体連
- 小学生
- 成年女子

- 全国大会
- ブロック大会
- 都道府県大会

- 男子
- 女子

試合
番号 **A-す**

年月日 **2023 年 10 月 10 日 (火)**
大会名 **特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技**

公式記録用紙

A										富山県										東京都										B			
都道府県 鹿児島県					市町村 霧島市					会場 霧島市国分体育館					回戦 準々決勝																		
前半		A 15		B 10		最終 結果		A 30		B 24		第1 延長		A		B		第2 延長		A		B		7m70- D7分		A		B					
7m得点/総数		A 0/0		チームタイムアウト						チームタイムアウト						B		7m得点/総数															
				1		2		3		1		2		3		2/2																	
No.	富山県										G	W	2'	2'	D	DR	No.	東京都										G	W	2'	2'	D	DR
1	笠野 未奈																1	矢島 雪月花															
2	酒井 優貴子										4						2	藤澤 舞子										5					
3	檜木 祐穂										1						3	加藤 晴桜															
4	兼子 樹										2						4	杉田 琉海										3					
5	宮田 日菜子										1						5	初見 巴菜子											1				
6	菊池 杏菜										7						6	荒井 美咲										2					
7	安部 碧										2						7	有隅 晴香															
8	高木 裕美子										4	1					8	平山 夏穂															
9	大松澤 彩夏																9	干川 華音										4					
10	横嶋 彩										3						10	吉田 七夕子										3					
11	行本 朱里										6						11	小山 歩夢										7					
12	鈴木 梨美																12	遠藤 汐里															
監督A	大森 聡																監督A	八尾 泰寛															
役員B	福田 丈																役員B	加藤 晴桜															
役員C	菊池 啓太																																
役員D	横川 卓也																																

A **大森聡** チーム役員A署名 **八尾泰寛** B

特記事項

レフェリー	鍋島 圭太	松村 和紀	鍋島圭太	松村和紀
TD	河野 真育		河野真育	
MO	石崎 章弘		石崎章弘	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール

No.17

特別国民体育大会 燃ゆる感動かごしま国体 ハンドボール競技 試合結果・戦評報告書

競技日	10月10日(火)	試合番号	A-す	回戦	準々決勝
種別	成年女子	会場	霧島市 国分 体育館		

Aチーム名		Bチーム名		
富山		東京		
得点合計	小計		小計	得点合計
30	15	前半	10	24
	15	後半	14	
		第1延長前半		
		第1延長後半		
		第2延長前半		
		第2延長後半		
		7mTC		

戦評

富山代表アランマーレと、東京代表東京女子体育大学の対戦となったこの一戦、序盤はお互いにミスや固いディフェンスに阻まれなかなか得点することができない。東京⑩小山のミドルシュートが決まり均衡をやぶると、富山は⑧高木のポストシュート、⑥菊池の速攻ですぐさま反撃をみせる。富山が速攻や⑥菊池の力強いカットインなどで連続して得点を重ねていく中、東京は多彩なコンビネーションで粘り強く攻撃を組み立て、④杉田のポストシュートや②藤澤のサイドシュートなどで食らいつく。前半残り6分、富山はタイムアウトを取ると、そこから⑩行本の3連続得点などにつなげリードを広げる。東京も⑤初見のポストプレーから奪った7mTを、⑥荒井が決めるも15対10の5点差で前半を折り返した。

後半開始、東京が④杉田②藤澤のサイドシュートで得点するも、富山は②酒井のミドルシュートや④兼子のポストシュートなどで取り返す。お互いに点を取ったら取り返す、一進一退の攻防が繰り返される。東京も中盤、⑨千川や⑩吉田らのロングシュートなどで点差を詰めるが、富山も粘り強くオフェンスを組み立て、逆に点差を広げた状態で終盤に突入する。東京⑩小山がミドルシュートやカットインで気を吐く中、⑩横嶋⑩行本⑥菊池のカットインを軸にした攻撃で要所をおさえた富山が、30対24で勝利した。

	記載者氏名	磯端 要	
	送信日時	10月10日(火)	13:10